

【編集後記】

本年度も「愛知大学人文社会学研究所」から3冊目となる『文學論叢』をお送りできることを所員一同喜んでおります。今号には、論説3本、研究ノート3本を掲載することができました。窮屈な日程の中でご尽力いただいた執筆者と査読の先生方に改めて感謝申し上げます。査読誌になってから3冊目となり、査読過程などは円滑に進めることができるようになりましたが、これまで同様試行錯誤しながらの誌面作りとなっており、至らぬ点多々あるものと思います。これからも投稿規定や編集体制等の革新に努めていきたいと考えておりますので、どうか引き続きご鞭撻とご批判をいただき、皆さまの手で『文學論叢』を育てていただければ幸甚に存じます。

また、研究所では、昨年度より立ち上げた各種の研究プロジェクトに加え、2017年度には研究所主催のシンポジウム・ワークショップも多く開催してきております。これらの成果は別途大学のリポジトリ等に成果報告書等の形で順次公開していく予定ですが、『文學論叢』の方にも、こうした事業を通して得られた成果が、論文の形で掲載されるものと期待しております。もちろん、皆さまの日頃の研究成果につきましても、論説等の形でご投稿いただければ幸いです。愛知大学人文社会学研究所ならびに『文學論叢』、どうか今後とも宜しくご愛顧の程、お願い申し上げます。なお、投稿規定等は本号の110ページに掲載しておりますのでご参照ください。

文學論叢第155輯 編集委員会

文學論叢 [第155輯]

編者 | 愛知大学人文社会学研究所

代表者 | 伊東利勝

発行所 | 愛知大学人文社会学研究所

〒441-8522 豊橋市町畑町1-1

irhsa@ml.aichi-u.ac.jp

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/>

印刷所 | 株式会社 シンプル

平成30年2月20日 印刷

平成30年2月20日 発行

FEBRUARY 2018
Toyohashi, Japan

ISSN 0287-0835

Volume 155

LITERARY SYMPOSIUM

Volume 155

